

お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

氷のう

- ・使用後は中身を捨て、十分乾燥させてからキャップをしめ、乾燥した場所で保管する。
- ・表面の汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用して手洗いでする。

キャップ・冷たさキープホルダー

- ・スポンジに中性洗剤を含ませ、きれいに洗い、ぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとり十分に乾燥させる。

パッキン

- ・パッキンを氷のうから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふきとる。その後、氷のうに確実に取りつける。（パッキン表面にゴミなどが付着していると、水もれの原因）

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 冷たさキープホルダーの外側は、漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 冷たさキープホルダーは丸洗いでできますが、つけ置き洗い（水中に放置）はしない。
- 冷たさキープホルダーを丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。
- 氷のうは洗濯、ドライクリーニングしない。

5

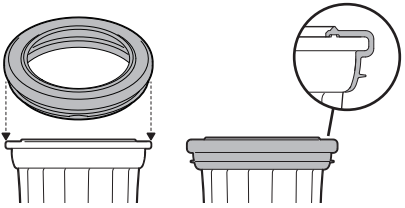
パッキンの取りつけ方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

パッキンの取りつけ方

パッキンの凹部を氷のうの凸部にしっかりと押しこむ。



こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■キャップからもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	キャップがしっかりとしまっていますか。	しっかりしめなおしてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	水を入れすぎていませんか。	規定量になるまで水を減らしてください。
■保冷が効かない	氷のうに入れる氷の量が少なくないですか。	十分な量の氷を入れてください。
	十分に冷たい飲料缶を入れてありますか。	十分に冷たい飲料缶を入れてください。

※パッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

6

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。

その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。（製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。）

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。（取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。）
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名
ABC型 氷のうセット（氷のう、キャップ、パッキン）
ABC型 キャップ
ABC型 パッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

固定電話からはこちら

携帯電話からはこちら

0570-094891

06-6453-9489

※固定電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589

製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。

ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

7

Peacock

保冷専用

アイスパック（布氷のうタイプ）

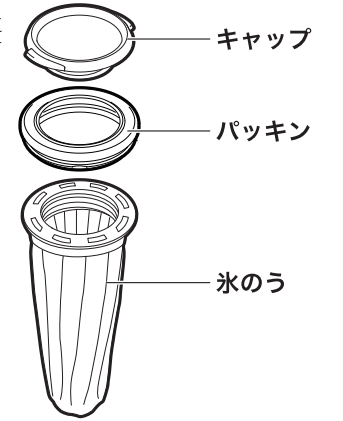
取扱説明書

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ

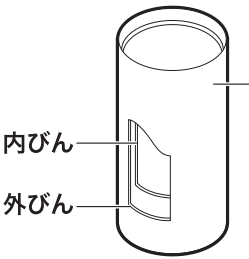
氷のうセット

冷たさキープホルダーに他社製の氷のうを入れて使用しないでください。



冷たさキープホルダー

ステンレス製真空二重構造です。電子レンジに入れしないでください。



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

24101C

安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

この取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するものです。
注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。	注意	人が傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容。
-----------	--------------------------	-----------	---------------------------------

記号について

禁止	してはいけない内容です。	必ず実施	必ずお守りください。
-----------	--------------	-------------	------------

警告

- ❌ 氷のうで、口や鼻を覆わない。
・窒息するおそれ。特にお子様が使用するとき、必ず保護者のもと十分に注意する。
- ❌ 乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。
・けがなど危険。
- ❗ 異常の発生や症状の悪化を防ぐため、次の場合は使用しない。
・アレルギー体質の方や肌が敏感な方。
・当てる部位に骨折、傷、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常がある場合。
・レイノー病(症候群)、その他の血管痙攣性疾患、冷えに対する過敏症、局所の血液循環不良、神経障害のある方。
- ❗ 次のことを必ず守って正しく使用してください。血行障害や凍傷、負傷事故を防ぐために、次のような使い方をしない。
・就寝時の使用。
・長時間、同一部位の冷却。
・妊娠中または妊娠していると思われる場合。
・氷のうに摩擦、損傷のある場合。
- ❗ 使用中に次の異常が発生したら、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。
・あてる部位にけが、骨折、傷、痛み、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常が生じた場合。

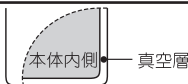
注意

- 本体およびキャップの表面が結露する場合があり、他のものを濡らしてしまふことがあります。
- 水や氷を入れた状態で長く放置しない。腐敗・変質の原因。

注意

- ❌ 絶対に入れない
・水または氷以外のものを入れないでください。
・ドライアイスは入れないでください。けがや破損の原因。
本来の使用目的(氷のう・保冷缶ホルダー)以外には使用しない。
本製品は治療を目的としたものではありません。
改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。けがや破損の原因。
落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない。
火のそばに置かない。変形・変色の原因。
使用中に不快感や、皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を中止する。
氷のうに入れた水や氷を飲んだり水筒として使用しない。故障や事故の原因。
氷を入れる際は無理に押しこまない。また、角のところがた氷は入れない。角をくたくか、水を入れて氷の表面を滑らかにしてください。内側が傷つき、もれ・破損の原因。
規定量以上の水と氷は入れない。破損の原因。
お湯を入れない。やけどのおそれ・破損の原因。
直射日光にさらさない。劣化の原因。
キャップを開閉するときは、氷のうの袋部分を持って開閉しない。破損の原因。
保冷缶ホルダーとして使用する場合、500mL缶以外は入れない。
冷蔵庫・冷凍庫に入れない。破損の原因。
底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。
はがすと、保冷効力が低下するおそれ。
- ❗ バッグなどに入れるときは、縦に置く。万が一のものを防ぐため。
氷のう
キャップは確実にしめて使用する。もれや衣服を汚す原因。
パッキンは必ずつけた状態で使用する。もれや衣服を汚す原因。
冷たさキープホルダー
使用後は、氷のうや飲料缶をすぐに取り出す。長時間放置すると、傷やサビの原因。

真空層の内部から水の音がる場合は、使用しない。
保冷効果が低下するおそれ。



ご使用方法

- ①冷たさキープホルダーに氷のうをセットする。
パッキンは必ず取りつけてください。



- ②規定量まで氷(と水)を入れ、キャップをしめる。
先に規定量の位置まで氷を入れ、次に水を入れてください。
氷は角をくたくか、水を入れながら氷の表面を滑らかにしてください。

キャップは、パッキンを持ちながら矢印の方向にまわしてしてください。



- ③氷のうを使う。
冷たさキープホルダーから取り出して、冷やしたい部位にあててください。

氷(と水)の規定量

※氷(と水)の量は図の位置までにする。
氷や水の入れすぎてキャップをしめると、ふき出したり、氷のうの破損の原因になります。入れすぎた場合は、規定量になるまで水/氷を減らしてから、キャップをしめてください。

氷のうを使っていない時は
アイシングの合間など、使用しないときはこまめに冷たさキープホルダーに氷のうを入れてください。保冷効果により氷が長持ちします。

保冷缶ホルダーとして使う場合

冷たさキープホルダーは、保冷缶ホルダー(500mL)としてもご使用いただけます。

- ①飲料缶を冷たさキープホルダーに入れる。
飲料缶はしっかり奥まで入れてください。
- ②飲みものを飲む。
冷たさキープホルダーを持って、ゆっくり傾けながら飲んでください。
※傾けすぎないでください。飲料缶が飛び出てることがあります。
- ③飲みが終わったら。
飲料缶は放置せず、冷たさキープホルダーから取り出してください。